

岩手県感染症週報

平成18年第28週（7月10日～7月16日）

岩手県結核 感染症情報センター

第28週の概要

1 類感染症

2 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生は報告はありませんでした。

3 類感染症

・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡地区から3例、二戸地区から1例、宮古地区から1例の報告がありました。この時期、下痢や血便などの症状があるときは、速やかに医療機関を受診し、治療を受けることが大切です。予防には、こまめな手洗い、食品の十分な加熱、厨房用品の消毒が重要です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

・ヘルパンギーナは引き続き増加しました。県内全域から患者発生は報告があり、北上地区では前週に続き、警報値（定点あたり患者数6.0人）を超えています。患者は1歳から5歳の年齢層に多くなっています。本疾患は、咳などによる飛沫感染の他、便中にもウイルスが排出されるため、保育園や幼稚園では十分な手洗いが重要です。

・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、盛岡および奥州地区で患者が多くなっています。本疾患は潜伏期が2～3週間に渡るため、今後の発生動向に注意が必要です。

・インフルエンザの4月以降の再流行は、ほぼ終息しました。前週まで患者報告が多かった久慈及び一関地区でも減少傾向にあります。

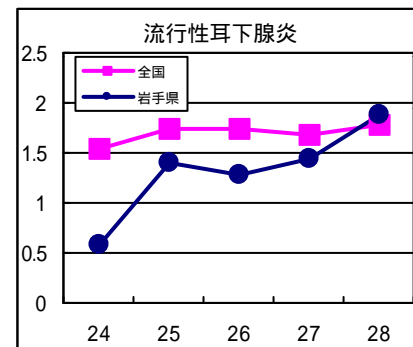
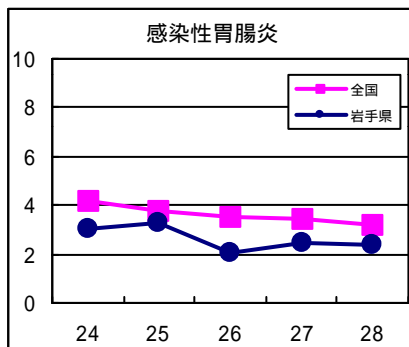
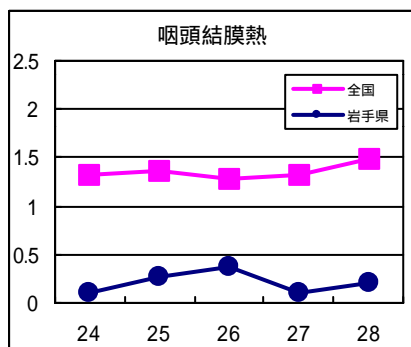
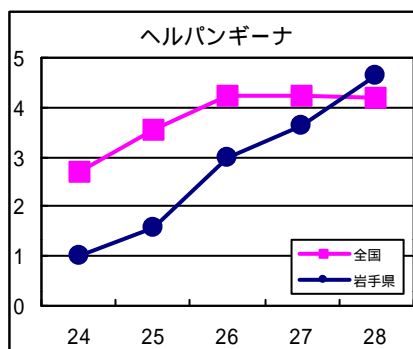
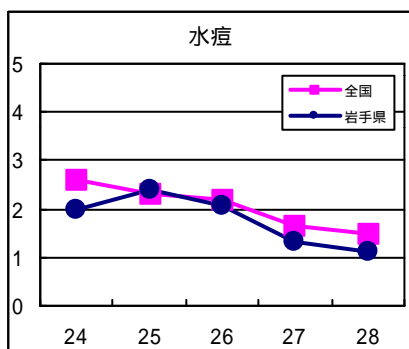
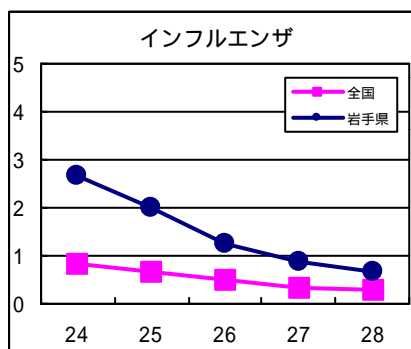
・水痘は、二戸地区で患者数が多い状態が続いていましたが、この週には減少しました。

4 類感染症

・つつが虫病の報告が1例ありました。患者は60歳代の男性です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		24	25	26	27	28		
インフルエンザ	岩手県	2.67	2	1.27	0.86	0.68	↓	
	全国	0.82	0.65	0.49	0.34	0.28		
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0.05	0.05	0	0.03	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02		
咽頭結膜熱	岩手県	0.1	0.26	0.38	0.1	0.21	→	
	全国	1.32	1.36	1.28	1.33	1.48		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.38	1.38	0.72	0.46	0.56	↗	
	全国	2.56	2.21	1.86	1.65	1.37		
感染性胃腸炎	岩手県	3	3.28	2.03	2.46	2.36	→	
	全国	4.16	3.74	3.5	3.48	3.2		
水痘	岩手県	1.97	2.38	2.08	1.33	1.13	↓	
	全国	2.59	2.31	2.2	1.65	1.48		
手足口病	岩手県	0.31	0.13	0.15	0.21	0.15	→	
	全国	0.9	1.16	1.35	1.66	1.93		
伝染性紅斑	岩手県	0.23	0.13	0.31	0.15	0.18	→	
	全国	0.7	0.72	0.79	0.61	0.76		
突発性発疹	岩手県	0.33	0.38	0.64	0.41	0.36	→	
	全国	0.71	0.76	0.83	0.79	0.81		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1	1.56	3	3.64	4.64	↗	
	全国	2.69	3.56	4.24	4.24	4.19		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.59	1.41	1.28	1.44	1.87	↗	
	全国	1.55	1.74	1.74	1.68	1.78		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.75	1.5	0.5	1.08	1.33	↗	
	全国	1.07	1.23	1.24	1.41	1.5		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.09	0.08	0.08	0.11		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.3	0.6	0.6	0.5	0.25	↓	
	全国	0.46	0.46	0.39	0.42	0.4		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ↓ : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		24	25	26	27	28	累計	28	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	21
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	5	104
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	31
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	11
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	1	5	6	16	122	1040
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	22
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	133
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	7
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	1	0	0	0	1	0	9
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	1	3	4	147
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	14
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	13
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	25
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	7	137	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	11	234
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	4	79
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	3	36
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	51
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	45
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	10	400
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	33
	髄膜炎性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	1	0	3	7	206
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	37
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	28

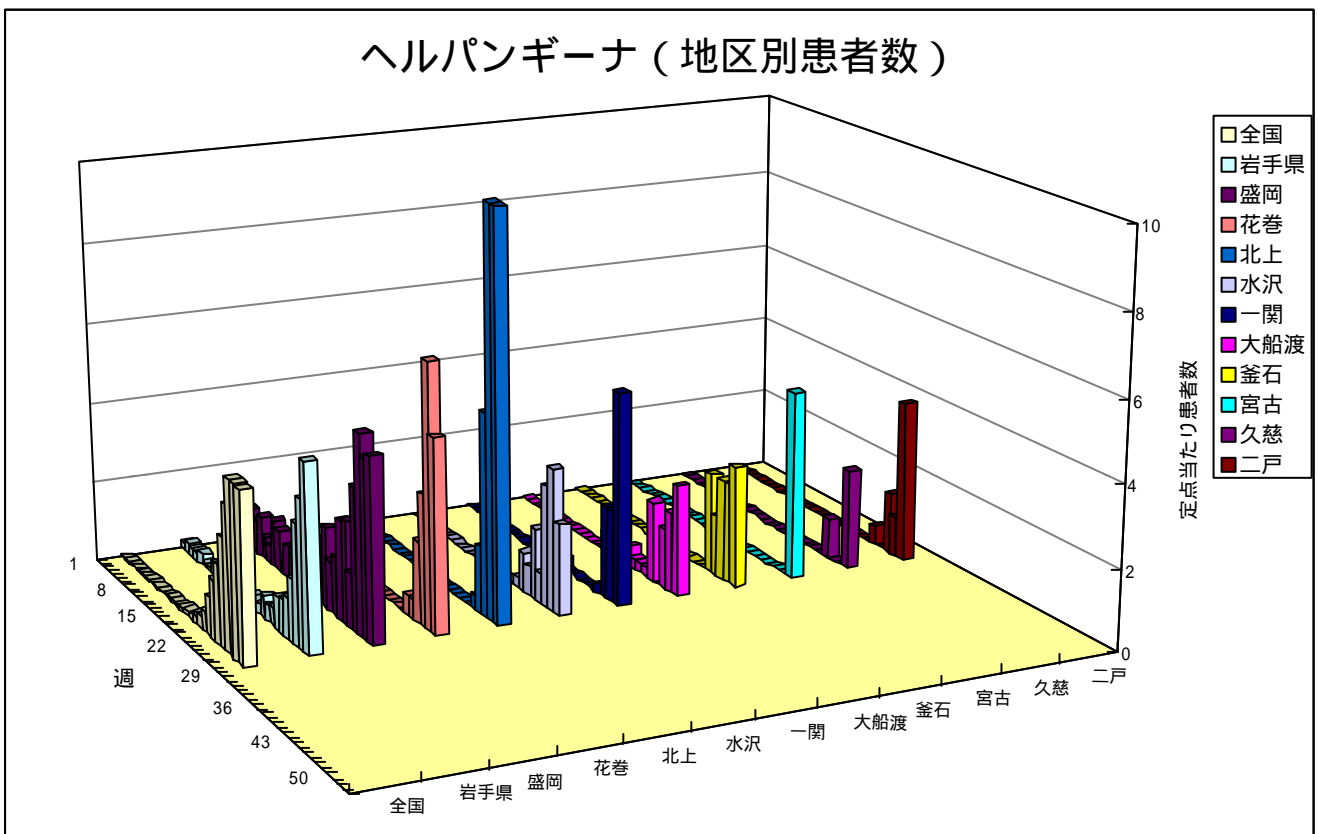
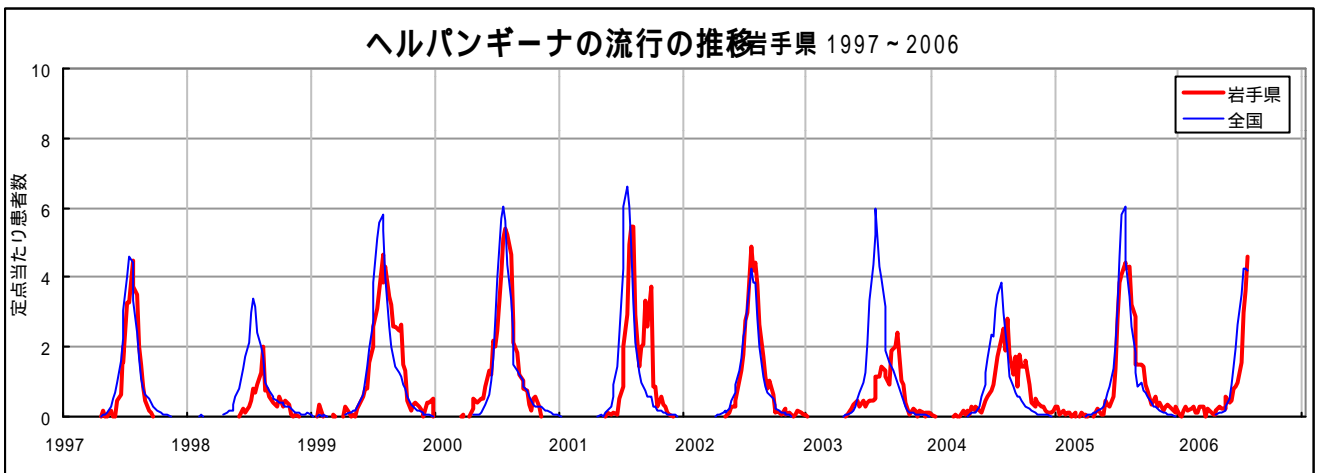
今注目の感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、夏季に流行が見られる。今年も6月中旬以降、患者報告の増加が始まった。年齢別では、1歳から5歳が全体の約75%を占めている。

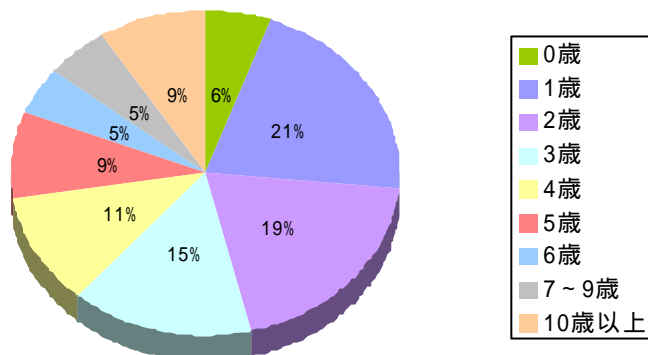
症状は、2～4日の潜伏期の後、突然の発熱及び口腔粘膜の発赤と水疱が特徴的である。感染経路は、咳などによる飛沫感染や接触感染である。特に便中には、回復後もウイルスが長期（2～4週間）にわたり排出される。予防には、十分な手洗いやうがいが必要である。

本疾患は、現在流行のピークを迎えていると思われるが、今後の発生動向には注意が必要である。



今注目の感染症（続き）

ヘルパンギーナの報告症例の年齢別割合
（2006年第1週～第28週）



訂正

2006年27週に掲載した、「ヘルパンギーナの報告症例の年齢別割合」に間違いがありました。今週掲載のデータが正しいものです。お詫びして訂正致します。

病原体検出情報

・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（7/19まで）

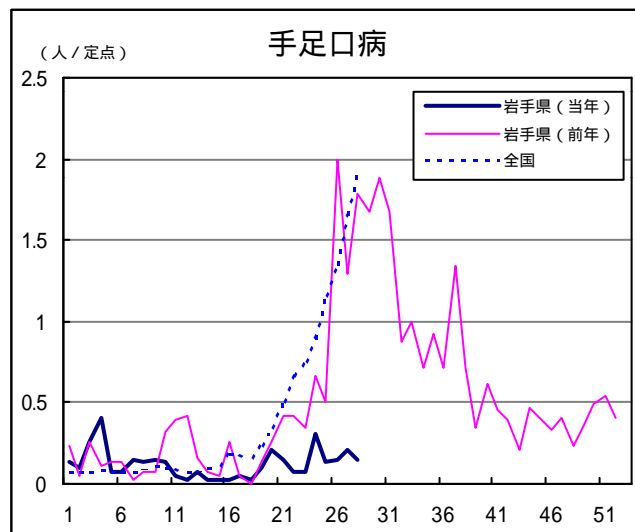
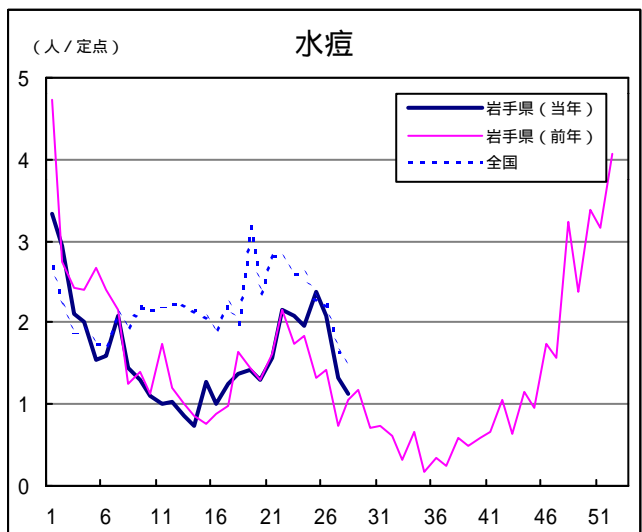
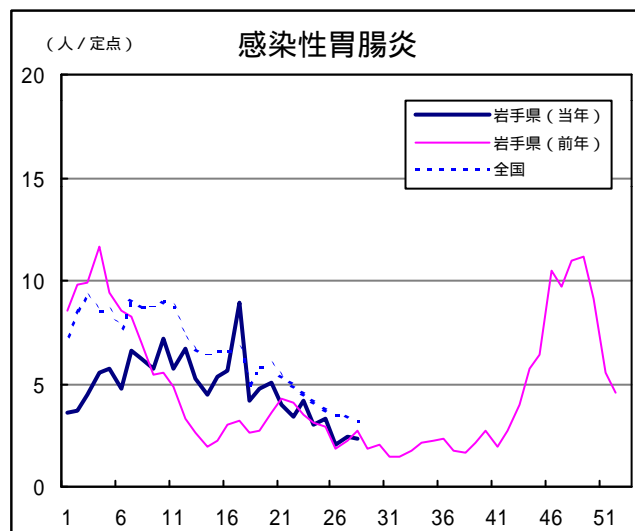
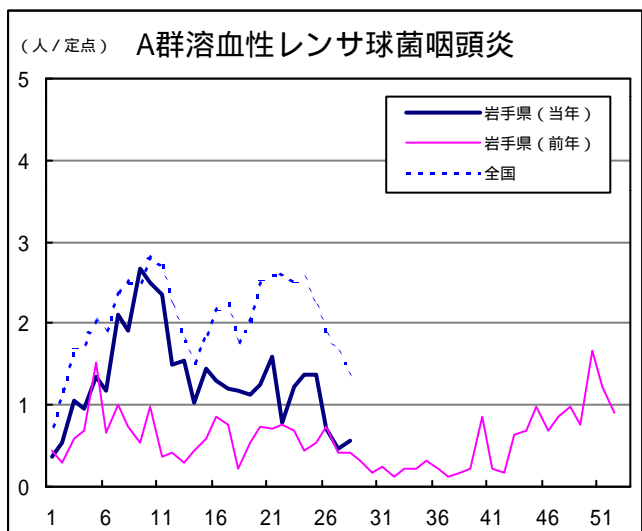
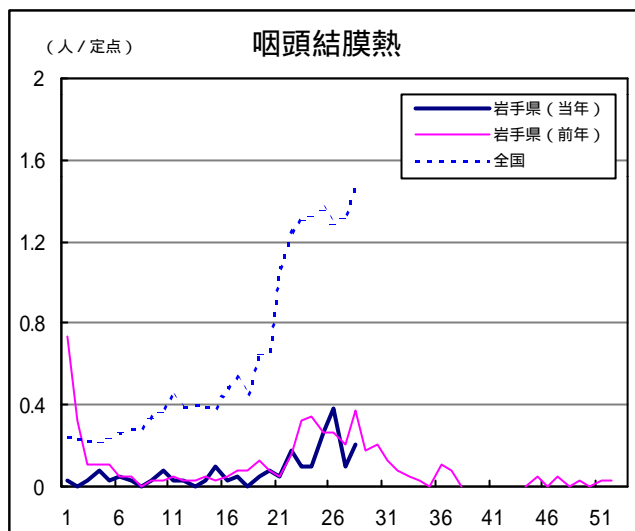
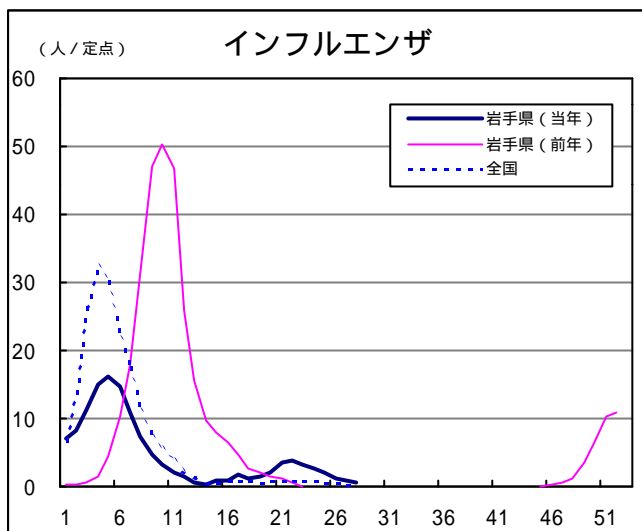
岩手県	盛岡	花巻	北上	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
98	40	3	6	8	9	12	1	6	7	6

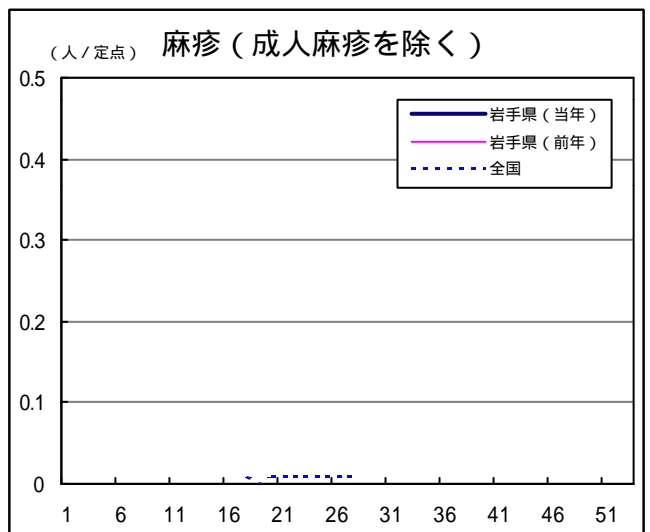
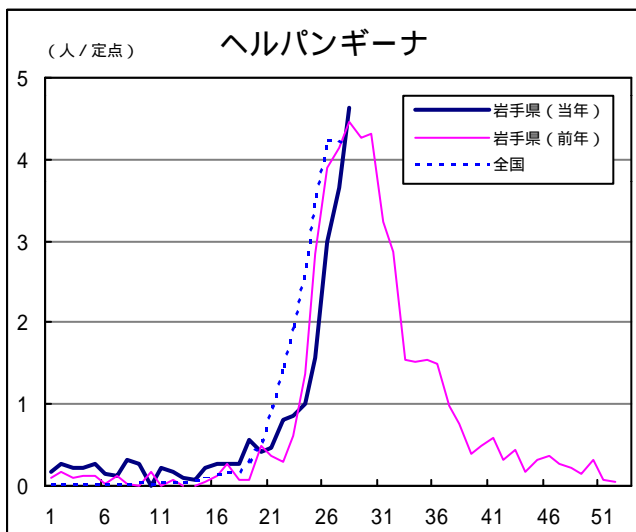
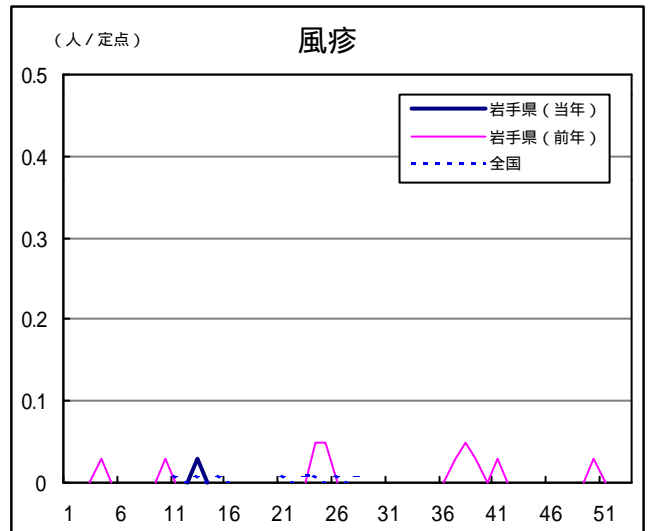
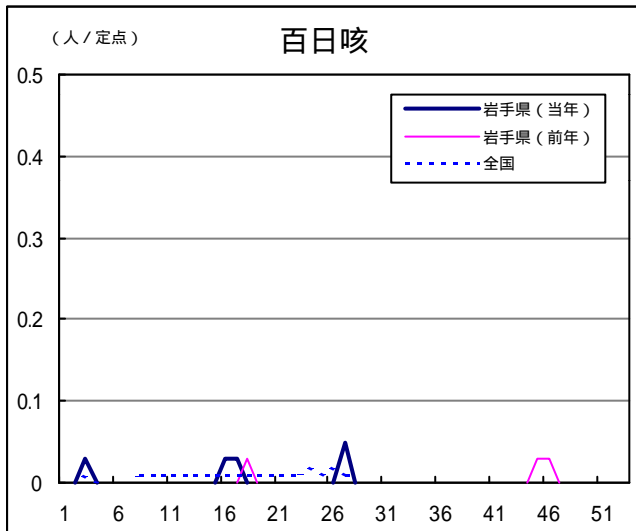
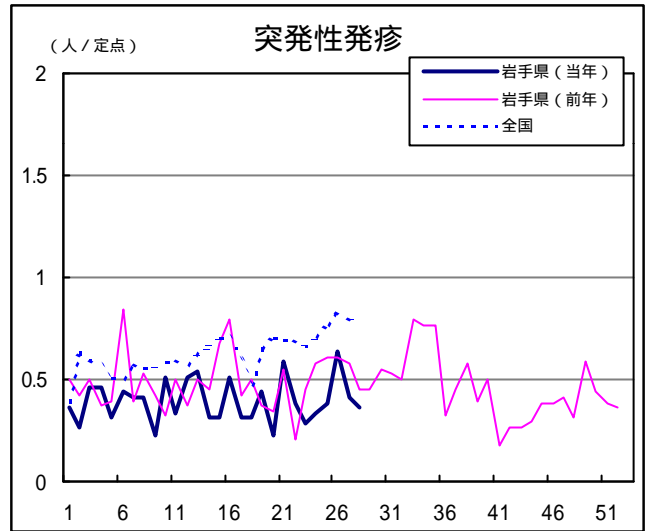
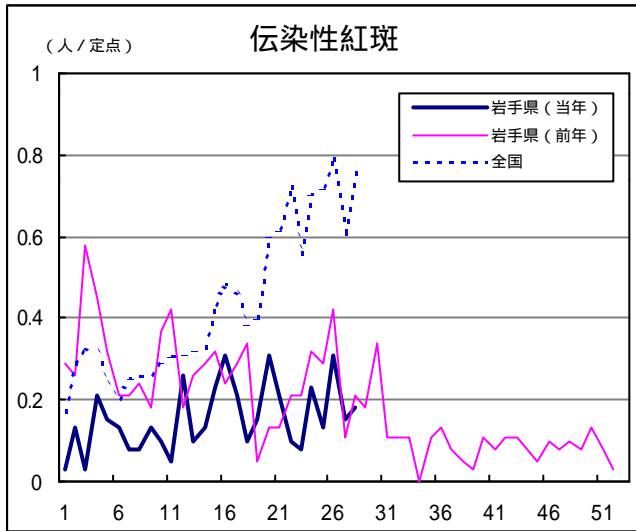
Q & A

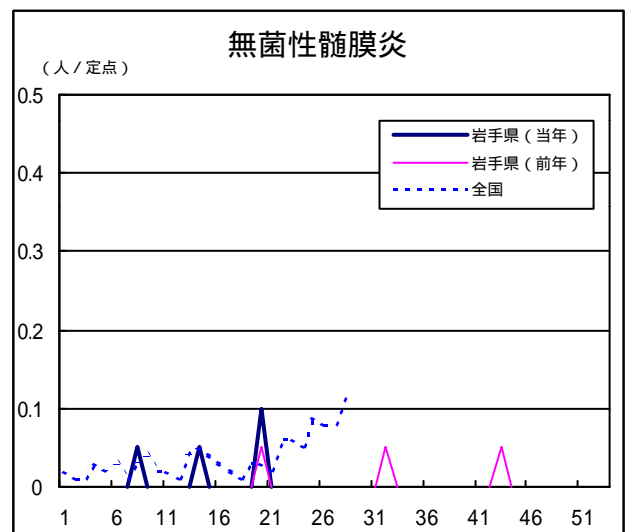
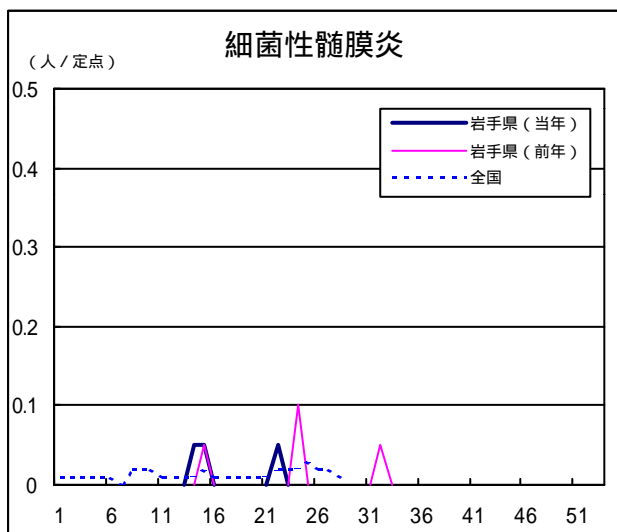
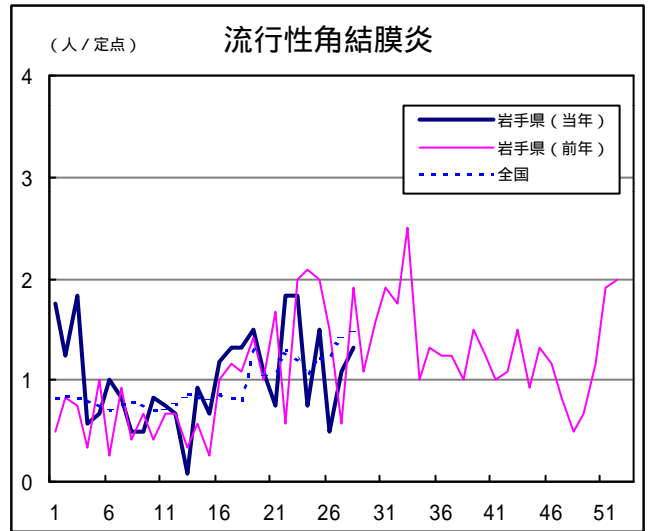
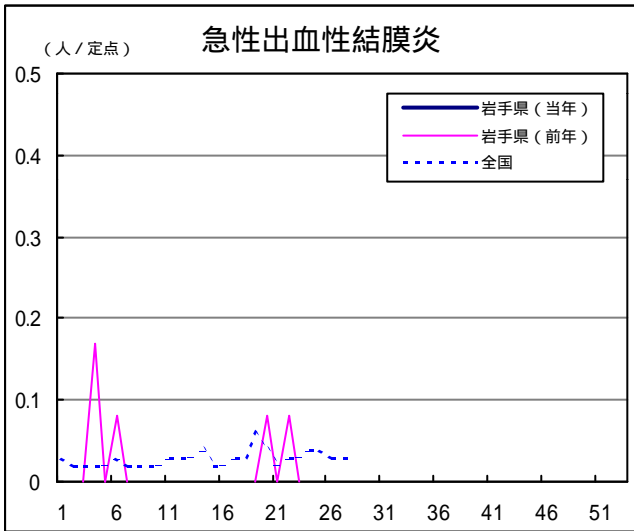
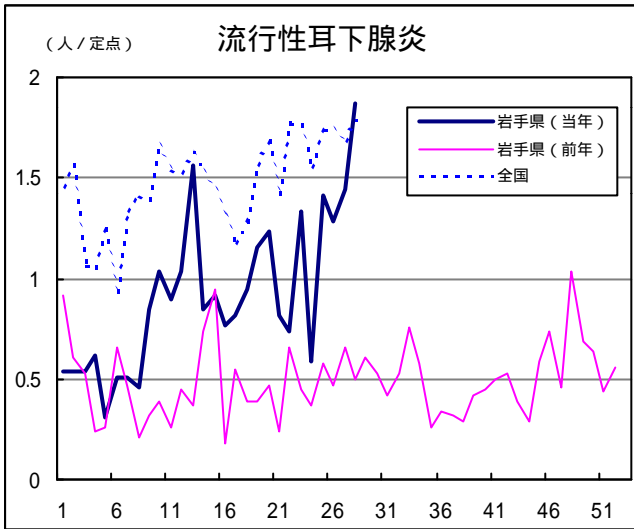
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

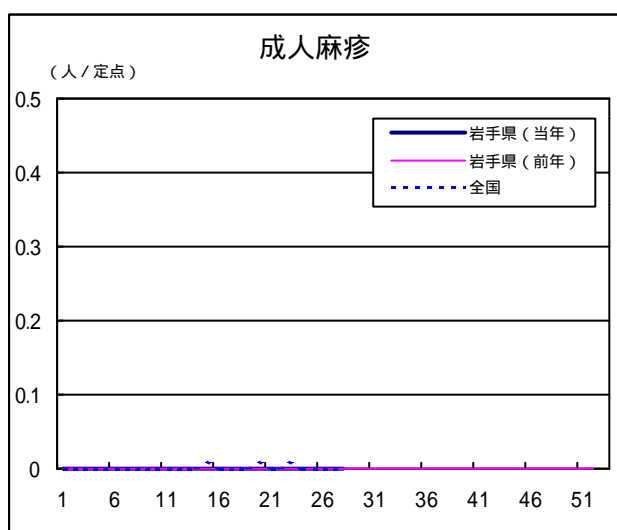
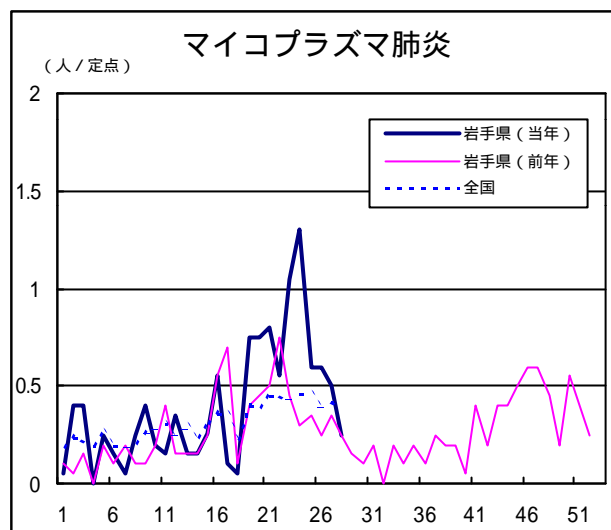
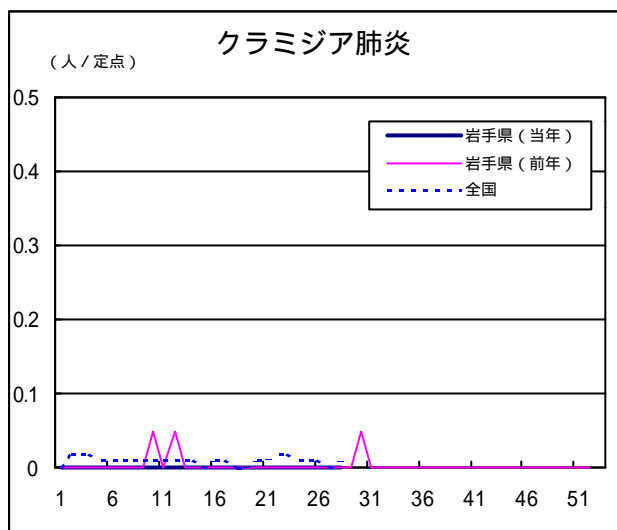
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第28週 平成18年7月21日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>